

ファンドの主な特色

- MSCI-KOKUSAI指数(円ベース・為替ヘッジなし)の中長期的な動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行います。
- 外国の株式を実質的な主要投資対象とし、外国株式 MSCI-KOKUSAI マザーファンドを通じて投資します。
 - ※ MSCI-KOKUSAI指数(円ベース・為替ヘッジなし)は、MSCI-KOKUSAI指数をもとに、運用会社が独自に円換算したものです。MSCI-KOKUSAI指数は、Morgan Stanley Capital International Inc.(MSCI Inc.)が開発した指数で、日本を除く世界主要国で構成された時価総額株価指数です。同指数の構成国や構成銘柄等については定期的に見直しが行われますので、変動することがあります。同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

＜運用方針＞

- 外国の株式を実質的な主要投資対象とし、MSCI-KOKUSAI指数(円ベース・為替ヘッジなし)の中長期的な動きを概ね捉える投資成果を目指します。
- 株式の実質組入れ比率は高位を保つことを基本とします。
- 実質組入れ外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

＜主な投資制限＞

- 株式への実質投資割合には制限を設けません。
- 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
- デリバティブの利用はヘッジ目的に限定します。

ファンドの概要

- 信託設定日 …………… 2007年9月27日
- 買付価額 …………… 取得申込日の翌営業日の基準価額
- 買付単位 …………… 1円以上1円単位
- 信託期間 …………… 原則無期限
- 販売手数料 …………… ありません。
- 信託報酬 …………… 純資産総額に対して年率0.2376%(税抜年率0.22%)
この他、ファンドの監査費用、ファンドの借入金利息、ファンドの組入れ有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。
- 信託財産留保額 …………… ありません。
- 決算および収益分配 …… 年1回の決算時(原則3月31日。同日が休業日の場合は翌営業日)に収益分配方針に基づき分配します。なお収益分配金は直接支払われず自動的に再投資されます。
- 解約価額 …………… 解約申込日の翌営業日の基準価額
- 買付・解約不可日 …… ニューヨーク証券取引所の休業日には、買付や解約の申込は受付できません。
- 受託会社 …………… 野村信託銀行
- 販売会社 …………… 野村證券

主なリスクおよび留意点

■ 当ファンドは、マザーファンドの投資等を通して、株式等の値動きのある証券等に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本や利回りが保証されている商品ではありません。また預金や保険契約等と異なり、預金保険制度や保険契約者保護機構等の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失は、すべて当ファンドの受益者に帰属します。

■ 株価変動リスク

当ファンドは実質的に株式に投資を行いますので、株価変動の影響を受けます。

■ 為替変動リスク

当ファンドは、実質組入れ外貨建て資産について、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。

* 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

<その他の留意点>

■ 当ファンドの取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

■ 資金動向、市況動向、不慮の出来事等が起きた場合には、投資方針に沿った運用ができない場合があります。

■ 当ファンドが実質的に組入れる有価証券の発行体において、利払いや償還金の支払いが滞る可能性があります。

■ 有価証券への投資等ファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。

■ 当ファンドの基準価額と対象インデックスは、費用等の要因により、完全に一致するものではありません。また、当ファンドの投資成果が対象インデックスとの連動または上回ることを保証するものではありません。

持ち分の計算方法

加入者毎の当ファンドにおける個人の持ち分(個人別管理資産額)は1口あたりに換算した基準価額に保有口を乗じた額になります。(コールセンターやインターネットサービスで確認できます)